



モダン寺新聞
～今号の記事～

一口法話 「ホンコさんのご案内」
(浄土真宗のお作法)
「門徒の心得 —法名と過去帳—」
神戸別院行事レポート
神戸別院法座案内

4P 3P 2P 1P

一口法話 「ホンコさんのご案内」

(神戸在住のお年寄り)

但馬山間の村では、「寺の報恩講」がすめばいよいよ本格的な冬がやってまいります。そしてそのころから、村々家々の「ホンコさん」が勤まるのです。
村の子どもたちが、「今晚〇〇ヶのほんこさんだで、まいっとくれよー」と声をそろえて触れてまわるんです。
いやーそのホンコさんが懐かしくて、しかも村のお寺のご院家さんに勤めていただくホンコさんが懐かしくて、それで十年になりますか、お願いしてみたら、行ってお勤めしてあげるよといふことで、あれから毎年来ていただいているのです。

私は戦後すぐに田舎を出て、こちらへ引っ越してまいりました。出て来たときにすぐこちらの浄土真宗のお寺を紹介していただき、ずっとそれからその寺の門徒にしていただいております。おやじもおぶくろもこちらで葬式してもらい、お逮夜まいりも日々していただいております。なんの不足もないのですが、ただこちらの地方には家々の報恩講がございません。としがよるほど昔のことがおもいだせます。若い夫婦や孫たちに、じいさんの子供のころのホンコさんのことやそこでおぼえたお正信偈さん、ご法座の様子などを話し、報恩講を家にお勤めしたいと相談してみましたが、ありがたいことにはみんなが賛成。田舎のお寺のご院家さんに来てもらおうということになつたんです。

もちろんこちらのお寺さんにもお話ししたら、「そんなことなら私もお参りさしてもらうわ」ということになつて、これが実現したのです。

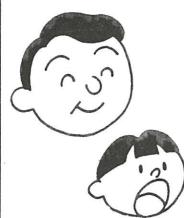
ほんに賑やかなことでっせ。わずか二・三時間ぐらいなんですが、お寺さんお一人、名古屋におります娘も毎年こども連れてやってきます。お正信偈あげてお説教いただいて…。

あたらしいご院家さん。今年はいつご都合つきまつしやろう。みんなに案内せんとなりませんので、なるべく早めにお知らせいただけませんか。みんな楽しみにしています。

本願寺神戸別院 「報恩講法要」

平成11年11月27・28・29（土・日・月）

家族そろってお寺にお参りしましょう



特集 — 浄土真宗の作法 — 第五回

「門徒の心得」 ——法名と過去帳——

「釋……」という法名は、本山で行われている「帰敬式」（おかみそり）を受けられた方に對して、

き、「家が門徒」という考え方から「私自身が門徒」となっていた

は「釈尊」（お釈迦様）の「釋」の一字をいただいたもので、法名を名乗るということは「お釈迦様の弟子として、仏教徒として自覚をもって生きる」証しの名前である。

つぎに、「過去帳」についてですが、お参りにお伺いしたときには過去帳ではなく故人の法名を刻んだ「位牌」をお仏壇の中に入れられておられるお宅があるようになります。

ものなのです。中には、法名は亡くなつてからいただくものだと思われている方がおられるようです。お葬式のときに、お手次のお寺のご住職が「おかみそり」をされる場合がありますが、これは生前に帰敬式を受けておられなかつたために、ご門主にかわりお手次のご住職が行つてるのでこの場合はあくまでも“緊急”的な措置で本来の姿ではないのです。

まだ「法名」をいただいていな
いご門徒の方は、できるだけ早い機会に「帰敬式」を受けていただ

【位牌】を故人とみなでてお仏壇の中に入れられておられるのではないかと思うのですが、そもそも淨土真宗ではお仏壇の中に「位牌」を入れるということはしないのです。故人を偲ぶことは尊いことですが、淨土真宗では、「過去帳」もしくは「法名軸」を用いります。この場合にも「過去帳・法名軸」は礼拝の対象とはなりません。なぜならば「眞実の教えを聞き、本願を信じて念佛するものは、如来様がおられるお淨土にお生まれになるわけですから、御本尊を礼拝することがそのままお淨土に

「往生された方にお札をする」ことになるからです。

「一位牌＝先祖の靈」ではないと
いうことをしっかりとおさえてお
いてください。そして故人のご命
日（月命日、祥月命日）や法事の
ときにはその日にあたっている方
の過去帳を開き、お参りしていただ
くようにしていただきたいもの
です。

◎法名……生きているうちに授かるもの

かるもの

◎過去帳……仏弟子として仏教徒としての自覚をもつて生きる証しの名前（真宗では位牌は用いない）

浄土真宗のお勤め・お作法についてのおたずねは

TEL ○七八一三四一—五九四九

神戸別院まで

モダン寺 テレホン法話 (078) 341-8546



毎週月曜日ごとに法話の内容が変わります。

いつでも、どこでも聞いていただけます。



◇◇◇ 神戸別院の行事レポート ◇◇◇

モダン寺土曜子ども会サマースクール開催

平成十一年八月二十二・二十三日に土曜子ども会の子供たちが集まり、一泊一日をモダン寺で過ごす「サマースクール」を開催いたしました。

今年で三回目の開催になりますが、この日には九名の子供たちが参加をしてくれました。京都の本願寺中央日曜学校から四人の先生を招き、「なかよく・たのしく・げんきよく」をスローガンに、「人形劇」「ゲーム大会」「室内キャンプファイヤー」など楽しく遊び、

お寺でのこのような楽しい思い出は子供たちにとって忘れられないものとなるでしょう。



モダン寺暁天講座に多くの参拝者来院

班会議で、何をするか決める時、ダンゴ三兄弟になつた時は、はづかしくって、できなかつた。おかげ絵劇の時、私の知っている、『おかげ』ができた。初めて、のれなかつたけど、だいぶよき室内キャンプファイヤー。初めははずかしくつて、はしゃぎまくつた。だんだんのつてきて、はしゃぎまくつた。ダンゴ三兄弟は、ちゃんとできた。おふろは、ずっと遊んでいた。ねる時は、まやちゃんと、「こわい」とか、クスクスずつと笑って、おもしろかった。来年サマースクールをまたするんだったら、またきたい。

サマースクールで…… 小辻 葉子



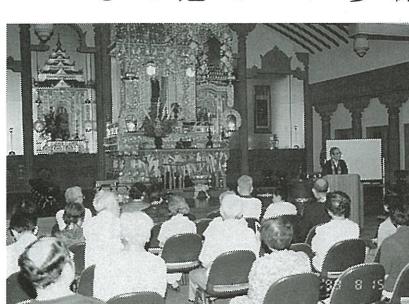
平成十一年八月一・二・三日の三日間、恒例

モダン寺暁天講座に多くの参拝者来院をお勧め後には、神戸市北区正光寺の高崎長英師のご法話を皆さんと聴聞させていただきました。

仏教婦人会では毎月七日の一時

三十分より定例法座を開催しております。どなたでもご自由に参加していただけますので皆様のお越しを会員一同お待ちしております。

お問い合わせは神戸別院まで



その後、ご講師よりご法話をいただき、参拝の方と、ご講師の先生、職員で「朝粥」をいただき、普段のお参りとは違い、皆さんとゆっくり時間をとっていろいろなお話をさせていただき、お参りいただきました。

ただいた方々にも大変喜んでいたお話をさせていただきました。

神戸別院仏教婦人会永代經嚴修

平成十一年十月七日午後一時三十分より神戸別院仏教婦人会の永代經をお勤めいたしました。あいにくの雨まじりの天気のなか、四十名ほどの会員の方にお参りをいたきました。

お勤め後には、神戸市北区正光寺の高崎長英師のご法話を皆さんと聴聞させていただきました。

仏教婦人会では毎月七日の一時三十分より定例法座を開催しております。どなたでもご自由に参加していただけますので皆様のお越しを会員一同お待ちしております。

お問い合わせは神戸別院まで

秋のお彼岸法要に本堂は満堂

平成十一年九月二十二日～二十四日の三日間神戸別院本堂にて秋季彼岸法要をお勤めいたしました。

天候不順にも関わらず、特に二十三日の中日には本堂が満堂となるほどの多くの方にご参拝を頂きました。お勤めのあと、神戸市北区行願寺のご住職久堀弘義師のご法話をいただき、法要終了後には、神戸別院仏教婦人会の方々に準備していただいた「おはぎ」をお配りしました。

二十三日の午前中には一回目となります「門信徒の集い」を開催し、五十名ほどの参加をいただき、「お仏壇のおかざりの仕方」「仏教讚歌の練習」を参考いたしました。

お勤め後には、神戸市北区正光寺の高崎長英師のご法話を皆さんと聴聞させていただきました。

仏教婦人会では毎月七日の一時三十分より定例法座を開催しております。

